

上手な使い方「果樹類編」

グロースター[®] トリオ

グロースター1号

グロースターM

グロースター2号

荷姿：5Kg ポリ缶、20Kg ポリ缶

果樹類の養分供給、
養分バランス調整に!



 サンアグロ

上手な使い方「果樹類編」

グロースター[®] トリオ

グロースター1号

グロースターM

グロースター2号

果樹生産の激しい産地間競争に打ち勝つためには、的確な肥培管理を行い常に品質の高い生産物を安定的に供給することが第一です。

そのためには、果樹の生育生理に合わせたキメの細かい樹勢調節をしっかりと行うことが必要です。グロースター Trio は充分これに応えてくれます。

■果樹類の一般的な生育特性

●萌芽・展葉期

地温・気温の上昇とともに樹液の体内流動も活発になり萌芽・展葉が始まります。そして貯蔵養分を原料として葉が発育・展開し光合成を始めます。しかし展葉間もない葉の光合成能力は各種養分が不足しているため充分でなく、これから発育してくる花芽の素質が不良となりがちです。

●開花・結実期

開花・受精後の果実は直ちに盛んな細胞分裂を開始します。この時期に栄養状態を積極的に高めると細胞数が増加し、大きな果実になる素質が確立します。新梢の伸び方は樹勢の強弱を判断する目安になります。適期に新梢が停止していなければ果実の品質(肥大・着色)、花芽の分化に悪影響を及ぼします。逆に新梢の伸びが弱すぎた場合も同様のことが言えます。将来品質の高い生産物を得るためには、この時期からの樹勢の微調整が大切です。

●果実肥大・着色期

この時期の前半では、積極的な果実肥大の促進、後半では着色糖度を含む品質向上に様々な技術を用いますが、なかなか期待通りにいかないのが現状です。そこで、グロースターを各種用途に応じて併用すると果実の肥大・品質の向上に大きく貢献し、優れた生産物を安定的に供給することができます。

●収穫期後半

生産活動のために落込んだ樹勢の早期回復、花芽の充実、蓄積養分の増大等を行う大切な時期です。

■葉面散布グロースター Trio

グロースターは糖分を含んだ葉面散布材です。

独自の処方による製造で他社の葉面散布材と異なり、100倍または条件によっては50倍という高濃度散布を可能としています。

高濃度散布によってグロースターは迅速に且つ抜群の効果を発揮します。

石灰硫黄合剤との混用は、硫化水素などの有毒ガスが発生する恐れがありますので、混用しないでください。

●グロースター Trio の種類と内容成分

(%)

種類	チッ素	リン酸	カリ	苦土	糖類
グロースター1号	6	2	3	0	9
グロースターM	1	5	5	1	9
グロースター2号	0	5	5	0	9

●グロースター Trio の主な特長

グロースター1号 …… 作物の各器官の生長を促し、その働きを活発化します。

グロースターM …… 土壌からの養分吸収を促し、体内の同化作用を活発化します。

グロースター2号 …… 土壌中のチッ素の吸収を一時的に抑え、体内の未消化チッ素の同化を促します。

■ 果樹類でのグロースタートリオの効果的な使い方

▶りんご

・基本的な使い方

散布時期	目的	方法			
		種類	濃度	間隔	回数
開花前	生育促進のための養分供給	グロースター1号	150倍		1回
花が散った直後	果実肥大促進のための養分供給	グロースター1号	100倍		1回
サビ果発生の危険がなくなった時	果実肥大促進のための養分供給	グロースター1号	100倍		1回
収穫25日前から	果実肥大、着色促進、糖度向上のために養分バランスの調整	グロースターMまたはグロースター2号	100倍	4-5日おき	2回

・必要に応じた使い方

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
展葉期-新梢停止期	凍霜害、葉害発生	回復ための養分供給	グロースター1号	100倍	3-4日おき	3回
	樹勢不良	生育促進のための養分供給	グロースター1号	100倍	3-4日おき	3回
	新梢徒長	樹体養分バランスの調整	グロースター2号	100倍	5-6日おき	2回
果実肥大期	玉伸び不良、肥大不良	生育促進のための養分供給	グロースター1号	100倍	5-6日おき	2回以上
収穫中期-落葉期	翌年の花芽の準備	樹体養分バランスの調整	グロースターM	100倍	5-6日おき	2回

▶ぶどう

・基本的な使い方

散布時期	目的	方法			
		種類	濃度	間隔	回数
開花1週前	花ぶるい防止のための養分バランスの調整	グロースター2号	100倍		1回
開花1週後	花ぶるい防止、シベリン処理後の養分バランスの調整	グロースター2号	100倍		1回
満開15日以降	細胞分裂促進のための養分供給	グロースター1号またはグロースターM	100倍	5-6日おき	3回
収穫後	花芽の充実、貯蔵養分の増加のための養分供給	グロースター1号またはグロースターM	100倍	5-6日おき	3回

・必要に応じた使い方

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
発芽-展葉期	窒素過多、徒長	養分バランスの調整	グロースターM	100倍	5-6日おき	3回
	樹勢不良	生育促進のための養分供給	グロースター1号	100倍	5-6日おき	3回
展葉期(本葉5-6枚)-開花期	強樹勢	樹勢抑制、花ぶるい抑制のための養分バランスの調整	グロースターMまたはグロースター2号	100倍	3-4日おき	2回以上
	樹勢不良	生育促進のための養分供給	グロースター1号	100倍	3-4日おき	3回以上
果実肥大期-着色期	窒素過多、徒長	樹勢抑制、同化促進のための養分バランスの調整	グロースターMまたはグロースター2号	100倍	5-6日おき	3回
	蓄積養分不足	樹体養分増加のための養分供給	グロースター1号	100倍	5-6日おき	3回
着色期	着色不良	着色促進、糖度向上のために養分バランスの調整	グロースター2号	100倍	4-5日おき	3回

※無袋栽培では果粉発生期以降は散布しないでください。 ※有袋栽培の場合でも、除袋後は果実を汚すことがありますので散布しないでください。

▶もも(中晩性種)

散布時期	目的	方法			
		種類	濃度	間隔	回数
硬核期以降	果実肥大促進のための養分供給	グロースターM	100倍	4-5日おき	2回
硬核期以降	着色促進、糖度向上のために養分バランスの調整	グロースターM	100倍	4-5日おき	2回

■ 果樹類でのグロースタートリオの効果的な使い方

▶ おうとう

・ 基本的な使い方

散布時期	目的	方法			
		種類	濃度	間隔	回数
花が散った直後	生産力向上、低温抵抗性の向上のための養分供給	グロースター1号	150-100倍		1回
着果直後	細胞分裂促進のための養分供給	グロースター1号	100倍		1回
幼果の傷つきの危険がなくなった時	果実肥大促進のための養分供給	グロースター1号	100倍		1回
肥大中期-収穫期	果実肥大、着色促進、糖度向上のために養分バランスの調整	グロースターMまたはグロースター2号	100倍	5-6日おき	2回

・ 必要に応じた使い方

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
果実肥大期	玉伸び不良	細胞分裂促進のための養分供給	グロースター1号	100倍	4-5日おき	2回
収穫中期-落葉期	翌年の花芽の準備	樹体養分バランスの調整	グロースターM	100倍	5-6日おき	2回

▶ 露地みかん(成木園)

・ 基本的な使い方

散布時期	目的	方法			
		種類	濃度	間隔	回数
開花終了後	生理落果防止のための養分供給	グロースター1号	100倍	5日おき	2回
着色期	着色促進、糖度向上のために養分バランスの調整	グロースターMまたはグロースター2号	100倍	5日おき	2回
収穫後	樹勢回復のための養分供給	グロースターM	100倍	5日おき	2回

・ 必要に応じた使い方

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
開花期	樹勢不良	新梢伸長と開花促進のための養分供給	グロースター1号	200倍	5日おき	2回以上
2回目の摘果後	樹勢不良	果実の肥大促進、品質向上のための養分供給	グロースター1号	100倍	5日おき	2回
7月上旬-8月下旬	干ばつ天候	干ばつからの樹勢回復のための養分供給	グロースター1号	100倍	5日おき	2回以上

▶ かき

・ 基本的な使い方

散布時期	目的	方法			
		種類	濃度	間隔	回数
最終摘果後	肥大促進のための養分供給	グロースター1号	100倍	4-6日おき	2回
収穫30日前	着色促進、糖度向上のために養分バランスの調整	グロースターMまたはグロースター2号	100倍	4-6日おき	2回

・ 必要に応じた使い方

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
萌芽-開花期	樹勢不良、天候不良、農薬害	萌芽の均一化、低温抵抗性の向上、生産力向上のための養分供給	グロースター1号	150-100倍	5-6日おき	2回以上
満開-7-10日	樹勢不良	生理落果防止、生産力向上のための養分供給	グロースター1号	100倍	5-6日おき	2回



- 農薬と混用する場合は当該農薬との混用可否について確認のうえ、農薬の使用上の注意事項を守ってください。
- 強いアルカリ資材とは混用しないで下さい。アンモニアが発生し、植害を起すことがあります。
- 幼児等の手の届く所に置かないで下さい。
- 高温にならない冷暗所に保管してください。

- 荷崩れや荷のつぶれがおこらないように、保管をして下さい。
- 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。

石灰硫黄合剤と混合すると有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用は行わないこと。

「グロースター」は日産化学工業株式会社の登録商標です。

製造

サンアグロ

取扱